

開成の杜

第128号 ●2025年9月30日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



学園の花マキシムフサが咲くキャンパスの夏



理事長・学園長
関口 修

開物成務

太平洋戦争敗戦後80年の歳月が経過しました。全世界の人々は悲惨な戦争を経験したにもかかわらず、近ごろは其処彼処の国々や地域で戦争や紛争が勃発し、多くの尊い命が失われていることを憂います。

本学は日本が敗戦となった翌年、小さな私塾に数人の生徒が集い、校舎はなく居宅の一隅から始まりました。その後、借家ながらも学習意欲旺盛な子女たちの学びの場として、郡山女子専門学院開設の基となりました。

昭和25年、短期大学制度が制定され、我が国最初の短期大学の一つとして郡山女子短期大学の設置が認可されました。許認可時の評価報告書には学生の豊かな教養が顕著と記されていたようです。

建学精神に「尊敬・責任・自由」を掲げ、一粒の小さな種子に熱心な学生・生徒が集い始め、関係者の意欲に育てられ、来年で80周年を迎えます。

開成の地は明治5年、県令・安場保和と中條政恒の献身的努力により始められた日本最初の大規模開拓で、土族授産も兼ねた開拓歴史遺産であり、大槻原・安積野開拓として高く評価されている地域なのです。

開拓の拠点は今も学園近くの郡役所、開成館（史跡）が定めら

れ、活動の中心とされました。さらに、開拓者のためにと勅許による伊勢皇大神宮の御分霊、開成山大神宮を祭り、開成山公園や現在の野球場、競技場（灌漑池）などが整備されました。

今年で約150年の歴史を数える現在の郡山市の成り立ちには開拓の根拠でもある安積疏水の完成がなければ現在の日常はなかったと思います。人々の思いの内に「水は天から貰い水」という思いがあります。汗をかき喉の渇きを癒す一杯の水に教えられる有難さ。安心安全な日常を維持する為には水と向き合うべき大切な課題があるように思います。

開成学園で生活している一人一人にとって幸いなことは、猪苗代湖を水源とする安積疏水が開拓のために造られていたことです。

余多の苦勞を乗り越え、開拓し、郡山市という街を生み出した先人に感謝の真を捧げなければならぬと思います。

難問に向かい、研究し、物を開いて新たな科学や社会を創り出す意欲は万物共通の価値であり、人類発展の歴史なのではないでしょうか。

歴史を振り返れば現代社会が学ばなければならぬ営みが見えてきます。

諺に「天の時あり、地の利あり、人の和ありて、事の成るなり」という教えがあります。実践が求められるのが今なのです。

原発事故の影響調査に関心 IAEA研究者の講義聴く

第3回
教養講座

国際原子力機関（IAEA）と福島県との協力プロジェクトをテーマにした講演会は7月8日、本学で開かれ、東京電力福島第一原発事故からの復興に向けてIAEAが取り組んでいる

る調査研究に理解を深めた。

原発事故後の環境への影響や放射線に関する研究成果を、未来を担う世代に伝え、今後の行動や考え方に生かしてもらおうと昨年から県内の大学を巡回して実施している。本学では今年度第3回教養講座として

当日は大学4年生と大学院生が聴講した。大学食物栄養学科の影山志保准教授の進行でIAEAのミロスラフ・ピナック氏をはじめ4人の研究者からそれぞれ講義を受けた。

放射線の現状と影響を語る研究者

放射線の人体への影響や継続したモニタリングの重要性、農作物等に含まれたり河



聴講後に質問が相次いだ講座

川や海に流出したりする放射性セシウム状況と低減対策、放射性廃棄物の管理と今後の課題について学生たちは熱心に耳を傾けた。

聴講後の質疑応答でも質問が相次ぎ、IAEA関係者から「学生の皆さんの健康や食品、生活環境への関心の高さがうかがえ有意義な講演になった」と感謝の言葉を述べた。

透明感あふれる歌声に感動

双子の山田姉妹を招き芸術鑑賞

第225回芸術鑑賞講座は6月18日、建学記念講堂で開かれ、双子のソプラノデュオ山田華さん・麗さん姉妹の美しい歌声に感動の拍手を送った。

オープニングで「翼をください」を歌いながらステージへ登場した山田姉妹は、オリジナル曲「Starry Heart（輝く心）」や日本の四季をつ

づる「夏の思い出」などのメドレー、歌劇「ジャンニ・スキッキ」より「私のお父さん」、コミカルな「猫の二重唱」などのクラシックまで14曲以上を披露した。

鑑賞した学生と高校生は、二人の透明感あふれる息の合ったハーモニーに魅了された。軽快な曲では自然に手拍子も起こるなどコンサートを楽しんだ。



楽しく歌声を響かせた山田姉妹

先端技術や新産業で復興へ

第2回
教養講座 福島イノベーション構想を知る



バナメイエビの養殖で復興に尽力する松延氏

今年度第2回教養講座は5月28日、建学記念講堂で開かれ、福島イノベーション・コースト構想をメインテーマに繰り広げられた。

同構想は、東日本大震災と原発事故により大きな被害を受けた福島県浜通りを中心に、様々な分野の専門家の知恵と技術を集めて復興を加速させる国家プロジェクト。

講座では同構想推進機構の飯田喜之交流促進部副部長が概要を説明。ロボットやドローンの実用化、水素エネルギーの活用など先端技術を駆使した取り組みを紹介した。



ロボットなどの技術革新について語る飯田氏

続いて、本学と包括連携協定を結ぶ双葉郡葛尾村へ移住し、バナメイエビの陸上養殖を行っている株式会社HANERU葛尾の松延紀至社長が講演した。山間部の恵まれた自然の中、安全安心な育成方法で国産のバナメイエビの養殖と普及に努めている。将来は葛尾村にエビのテーマパークを設けて観光に役立てたいという夢も語られた。

就職部より

今年度のインターンシップはキャリアデザインⅡ専攻の学生45名が、9月1日～12日に5日間の日程で就業体験を行った。大学2年生、短大1年生で実習経験もない学生は、慣れない仕事に取り組みながらも仕事の楽しさ、働きやすい独特の職場の雰囲気や力を感じさせてもらった。有意義な就業体験ができるようにプログラムを組み、若者を育てようとする受け入れ側の姿勢と、丁寧な心のこもった対応に深く感謝を申し上げたい。受け入れ側が自分達も勉強になりますという謙虚な姿勢で、変わろうとするスタンスが自然体であり、とても素晴らしい方々と出会う機会にもなった。



ヨークベニマルの商品開発で学ぶ食物栄養学科の学生

に」というお声掛けを頂いたり、将来の就職も視野に入れていた企業もある。インターンシップから就職に繋がる時代となり、その位置づけが変わって来ている。企業に感謝の気持ちを持つてインターンシップに臨んだ学生の心構えは素敵で、受け入れ側にも伝わったと感じられた。頭で考えていたものと現実とはまるで違うと言いつつ、「楽しい」と言う言葉が随所で聞かれたのは希望調査を行い、希望に添ったインターンシップで高い満足度を目



本宮市立しらさわ夢図書館で壁画装飾をした地域創成学科の学生

指した成果だろう。また、卒業生が県内の企業で活躍しており、学生の大きな励みと目標になったと思う。行動を起こすことで新しい環境に身を置き、自己認識を深め、新たな可能性を見つけることができ、大きな成長に繋がったのではないだろうか。自己実現に向けた働き方を学ぶことで、その仕事や学ぶことを好きになるのは自分への投資であり、自己実現への一番の道ではないかと思う。

発掘ガールの活動成果を紹介 群馬の岩宿博物館 学生が展示解説も



学生の展示解説を聴く来場者

笹山原遺跡群の調査成果や発掘に参加した「発掘ガール」を中心に、福島県内で発見された旧石器時代の遺跡などを紹介した。

同展では1983年より開始された本学の「発掘実習」と「発掘ガール」の歴史について、笹山原遺跡群調査の年表を用いながら説明。調査で使った機材や道具類、「発掘ガール」の一日などもパネルで披露した。これらは考古学担当の會田容弘教授と専攻科文化化学専攻1年生9名が中心となり、岩宿博物館の企画展担当学芸員の鈴木秋平さんと一緒に上げた。

「発掘ガールの考古学入門―猪苗代湖畔で学び、つなぐ旧石器時代―」が7月19日から8月31日まで群馬県みどり市の岩宿博物館で行われた。

毎年、短期大学部専攻科文化化学専攻と地域創成学科の授業の一環で実施されている発掘調査の歩みと会津若松市・

地域に役立つ研究と活動 郡山市歴史情報博物館好評を得た本学展

「地域と連携する郡山女子大学」の展示が7月16日から21日まで郡山市歴史情報博物館多目的ホールで行われた。

今春、郡山市中央図書館の隣にオープンした歴史情報博物館が市内の教育機関や企業等を紹介する機会を広げるため企画した。

会場では大学院、大学、短期大学部の各学科・専攻科で教

員と学生が取り組んでいる地域に役立つ研究や活動をパネルと製作物などを用いて紹介した。

生活科学科建築デザイン専攻の学生らが未来のキャンパスを想定して作った模型を展示。栄養系学科が特産品開発を目的に研究した料理・スイーツのレシピや、災害時に限られた食材と調理法でまかなえる指導



岩宿博物館を訪れた発掘ガールら

場がいつぱいになるほどの盛況ぶりだった。参加者の中には、かつて発掘を経験した「発掘ガール」(旧短大文化化学科卒業生)も足を運んでくれた。また、10日に會田教授が特別講演を行った。

今後も12月に仙台市の地底の森ミュージアムで地域創成学科2年生が中心となる発掘ガール展を予定している。

用の冊子は持ち帰られるようにして来場者に好評を得た。



本学の学修・活動を紹介した展示

スポーツ栄養の基礎学び実習も もつとサキドリ大学生

大学食物栄養学科の「もつとサキドリ」大学生は7月19日に行われ、スポーツ栄養の知識と健康づくりに役立つ食事などを学んだ。

高校生を中心に男女を問わず一般参加も呼び掛けて実施し、のべ約70人が参加した。公認スポーツ栄養士の武藤真紀さん(二本松南小学校栄養教諭)が「スポーツと健康を支える食のチカラ」と題して講演。スポーツにおける栄養の役割や、バランスの良い適切な栄養量を摂取する食習慣について見識を深めた。



武藤さん(手前)の指導でスポーツ栄養ご飯を作る参加者

引き続き、武藤さんの指導と郡司尚子准教授のサポートで「実践スポーツ栄養ご飯」をつくる調理実習を行った。炭水化物を摂取するカルシウムご飯をはじめ、たんぱく質と脂質を取る「鶏肉のみそ焼き」、ビタミンとミネラルを含む「さつまいものレモン煮」などを調理した。

また諏訪雅貴准教授の指導で骨密度などを測る実習「自分のからだを知ろう」も繰り広げられた。

新会長に宗像さん選ぶ 郡山開成学園家族会総会

郡山開成学園家族会の総会は5月25日、建学記念講堂で開かれ、新会長に宗像若菜さん(高校部会)を選出した。

総会では芦名潤一会長と名誉会長の関口修学園長があいさつ。紺野信弘副会長(大学副学長)を議長に令和6年度の会務報告と決算報告、7年度の事業計画と予算などを審議し承認した。役員改選では会長の宗像さんをはじめ副会長、幹事を選出した。

席上、退任した役員に感謝状が贈られ、労をねぎらった。選ばれた副会長と感謝状を

大阪・関西万博で 設計の工夫を学ぶ 建築デザイン専攻の学生

生活科学科建築デザイン専攻の学生たちは研修旅行で大阪・関西万博を訪れた。



佐藤さん(手前左から2人目)からスタジオの解説を聴く学生ら

移設作業や地域の新たな活用場づくりに本学の学生たちも携わる予定。

学生たちは、このほか大屋根リングをはじめフランス、ドイツなど世界各国のパビリオンを巡った。スケールの大きさと展示の工夫に圧倒されながらも、楽しく学びの多い機会となった。



宗像若菜会長

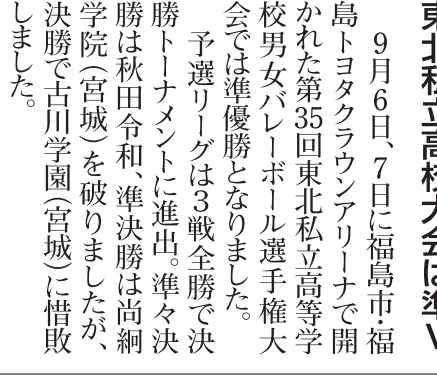
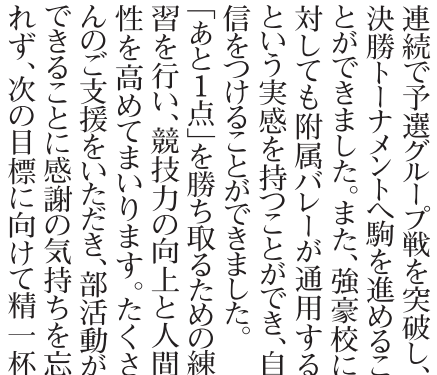
受けた退任役員は次の通り。

◇役員▽副会長Ⅱ伊藤雅彦(大学) 大山美紀(高校) 紺野信弘

◇感謝状Ⅱ芦名潤一(会長) 星美江、三瓶信晃(副会長) 吉田利恵、酒井明子、鹿目美穂(幹事) 山口弘志、小林芳枝(監事)

令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は7月、8月に中国地方（広島、岡山、山口）を中心に開催された。附属高校から6つの部が団体、個人の各競技に出場し、鍛えた成果を発揮した。

福島県少年女子《団体選手》柳沼夏帆
(2年)《1位》国民スポーツ大会出場





パレードで笑顔振りまく府中さん(右)と高橋さん

郡山市を代表する夏祭り「第61回うねめまつり」は8月7日から3日間、開催された。まつりの華・第61代ミスうねめに府中

第61代ミスうねめの府中さんと高橋さん 笑顔でまつりを盛り上げる

優衣さん(大学食物栄養学科2年)と高橋凛さん(短大地域創成学科1年)が選ばれ、時代衣装姿で盛り上げた。

2人は8日と9日に駅前大通りで行われた、うねめ踊り流しに登場した。オープンカーに乗ったお披露目のパレードでは沿道の人たちへ爽やかな笑顔を振りまいた。姉妹都市・奈良市の親善使節団らとともに踊り流しに参加して、けいこを重ねた成果も見せた。

まつりの後はミス郡山として1年間、地元の見光PRや友好親善活動に当たる。府中さんは「うねめ祭りに参加させていただき、郡山の伝統や魅力をより感じる」ことができま

郡山市・磐梯熱海温泉の夏の風物詩「第59回萩姫まつり」は8月9日、10日に開かれた。第59代萩姫の1人は附属高校の灰原

萩姫を務め分湯の儀 附属高校の灰原さん

した。これからも郡山の魅力を発信できるよう精一杯がんばります」とコメント。高橋さんは「パレードや踊り流しは緊張しましたが、皆さんが笑顔で手を振ってくれたので最後まで踊れました。今後、大好きな郡山の良いところをたくさん伝えたい」と抱負を述べた。



献湯祭で萩姫を務める灰原さん(左)

灰原さんは「地域を盛り上げるお手伝いをする事で、地元の方々との交流を深めることができました」と語った。



盆踊りの輪を広げた浴衣姿の学生たち

また、浴衣姿で参加した学生たちは村のイメージキャラクター「しみちゃん」と一緒に中央のやぐらを囲んで、子どもたちと踊りの輪を広げ、参加者との交流を深めた。

浴衣姿で盆踊りに参加 食物栄養と健康栄養学科生

短期大学部健康栄養学科の1年生と教員らが参加した。両学科は東日本大震災と原発事故からの復興を目指す葛尾村で、特産品開発や食育などの活動を繰り広げている。会場の復興交流館あぜりあで、食物栄養学科は村内で栽培したエゴマ(じゅうねん)を使った試作品「じゅうねん水ようかん」と「えごまくるみゆべし」を、健康栄養学科は特産の凍みもちをアレンジした「バクッキー」と「凍みもちごまパイ」を来場者へ提供した。試食アンケートの協力も呼び掛けた。



予防の重要性などを学んだフォーラム

大学食物栄養学科は8月24日、鏡石町健康福祉センターで町民の健康づくりに役立つ初の「けんこうフェスタ」を開催した。包括連携協定を結ぶ岩瀬郡鏡石町との共催。令和2年度から小中学校での栄養教育や住民の健康調査などに当たっている食物栄養学科が、町民にその成果を伝え、健康や食への理解を深めてもらおうと企画した。会場では血圧や骨密度、足趾把持力などの測

定を行ったり、栄養価に優れた食品の紹介と栄養指導を行った。附属高校食物科の生徒も鏡石町産のイチゴで作った飲物の試飲やジャムなどを販売した。生活習慣病予防の取り組みをテーマにしたフォーラムも行われ、本学の非常勤講師を務める総合南東北病院予防医学センターの柿沼雄二医師が予防医学の重要性について、食物栄養学科の岡部聡子教授が町内の子どもたちを紹介した家庭での貧血予防の取り組み、伊藤央奈准教授が健康調査の結果に基づく食生活改善について講演した。



健康測定に訪れた多くの鏡石の人々



イチゴミルクを勧める附属高校生

健康と食への理解を深めて 鏡石町で初のフェスタ



「えごま納豆」商品化 エゴマの食感生かし開発

大学食物栄養学科の郡司尚子准教授の研究室と伊達郡川俣町の山乃屋が共同開発した「プチっと！えごま納豆」が商品化された。本学と包括連携協定を結ぶ双葉郡葛尾村で栽培したエゴマを使用し、6月13日に同村役場で完成報告を行った。エゴマのプチプチとはじける食感と川俣町の山木屋納豆の風味が特徴。パッケージデザインは短期大学部地域創成学科の吉田七琉さん(2年)が考え、福島

のきれいな水の色と県内の特産品の絵を散りばめた。完成報告では山乃屋の影山一也代表と共に、篠木弘村長へ披露した。



葛尾村で行われた商品の完成報告

学校法人
郡山開成学園

令和6年度
事業報告

一、法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は「建学の精神」[「尊敬」「責任」「自由」]を教育目標としている。それは、お互いの個性を尊重し、敬愛できる豊かな人柄を創り他者においてそれを認めること、そして、人間として存在するために、責任ある行動で社会への自覚を持つこと。つまり、個性を重視し、互いに理解する「個の確立」と「他との協調」をもつて、自主・自立できる女性としての人間育成を図るのが目的である。

(2) 学校法人の沿革

○法人名 学校法人郡山開成学園
(創立：昭和22年4月22日)
○所在地 福島県郡山市開成三丁目25番2号

○代表者 理事長 関 口 修
○設置学校名
郡山女子大学大学院
開設：修士課程平成4年4月
博士課程平成8年4月

郡山女子大学
開設：昭和41年4月
郡山女子大学短期大学部
開設：昭和25年4月
郡山女子大学附属高等学校
開設：昭和32年4月

郡山女子大学附属幼稚園
開設：昭和30年4月
○学校長名
郡山女子大学
学長 関 口 修

郡山女子大学短期大学部
学長 関 口 修
郡山女子大学附属高等学校
校長 関 口 修

郡山女子大学附属幼稚園
園長 賀 門 康 博
(3) 学校・学部・学科等の入学定員、学生数の状況(令和6年5月1日現在)
在籍総数……………1,258名
前年度比……………1,199名減
学則等収容定員……………2,279名

○在籍数一覧 表①参照
(4) 役員等(令和6年9月6日現在)
理事9名・監事2名・評議員22名
(5) 教職員数(令和6年5月1日現在)
表②参照

二、事業の概要(当該年度)

本学の建学の精神である「尊敬・責任・自由」と学園の基本方針である「品位高尚」「秩序儉約」「創造自立」を根幹として、それぞれの学校、学科、部署等において計画した教育並びに運営に関する事項を実施した。

(1) 教育等実施内容

部署毎に年度当初に立てた計画(Plan)に基づき、実施(Do)、評価(Check)、改善(Act)のPDCAサイクルに従い、教育活動並びに事務活動を行った。
(2) 令和6年度入学者・入園児数
大学院3名・大学76名・3年次編入学7名・短大183名・専攻科14名・高校87名・幼稚園35名 計405名
前年度比…45名

(3) 令和6年度修了生・卒業生
大学院2名・大学112名・短大190名・専攻科6名・高校116名・幼稚園51名 計477名

(4) 学園全体で実施した主な事業
・令和6年度当初学園全体職員会
・学園創立78周年記念式典
・令和6年度郡山開成学園家族会総会
・令和7年度大学入学共通テスト(会場校)
・令和6年度自己点検報告会
・令和6年度末学園全体職員会
・令和7年度新任式・新任者オリエンテーション

・第78回もみじ会
・令和7年度大学入学共通テスト(会場校)
・令和6年度自己点検報告会
・令和6年度末学園全体職員会
・令和7年度新任式・新任者オリエンテーション

(5) 大学院・大学・短大で実施した主な事業
・始業式
・新入生オリエンテーション(学内)
・大学院第31回、大学第59回、短大第75回、専攻科第25回入学式
・関口育英奨学生認定式(大学10名、短大10名)
・第1～5回オープンキャンパス(参加者1,136名)
・生活安全講話
・令和7年度大学短大入学者選抜実施内容及び教育内容等説明会(参加35校37名)
・第1～3回高大連携基礎能力適性調査

・大学・短大大運動会
・令和7年度大学入学共通テスト
・第60回学園教育充実研究会(大学・短大、事務局)
・大学院第29回、大学第56回、短大第74回、専攻科第24回卒業式
・春のオープンキャンパス(参加者249名)

○その他の実施内容
定例主任・大学・短大教授会、研究科委員会(月1回)、数理・データサイエンス・AI教育プログラム実施、入試判定会議、教務委員会、図書館運営委員会、卒業研究発表、就職ガイダンス(年6回)、公務員試験対策講座(年3回)、キャリアアップセミナー(年4回)、インターシップ(単位認定型)

○学生のボランティア参加の状況
合計22件 延べ215人
○令和6年度卒業生就職状況
【大学】就職希望者108人 就職決定者108人(就職率100%)
【短大】就職希望者167人 就職決定者167人(就職率100%)
(6) 附属高等学校
「私を創るー未来の私を考えてー」の

努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標を設定し、高校生活をより有意義に送るために、生徒の自己啓発と自発性を育成する観点から、全教員が一丸となつて取り組んだ。
○実施した主な内容
・第68回入学式・新入生歓迎会
・第1回～4回オープンキャンパス中 学生254名・保護者266名
・附属高校入試説明会(中学校教員40名)
・高校大運動会・もみじ会前夜祭
・修学旅行(広島・関西)
・美術科卒業作品展、食物科卒業発表会、音楽科卒業演奏会
・令和7年度入学 推薦生・特待生・一般生選考会
・第66回卒業式
○その他の実施内容
運営委員会、職員会議(月1回)、考査学力テスト、高大連携授業、進路別説明会、集会・表彰報告会・壮行会等

(7) 附属幼稚園
「よくみる よくきく よくかんがえて」を教育目標として、教職員全員が一丸となつて、園児一人一人にきめ細かい保育と基本的な生活習慣を身につけさせるとともに集団での遊びにも力を入れて保育を行った。

○実施した主な事業
・第70回入園式
・遠足(年中)(年長(つくし・年少)
・特別参観日、保育参観日
・お泊り保育(年長)
・学園教育充実研究会(幼稚園部会)
・令和7年度入園説明会
・運動会
・子どもハザード
・ばくとわたしの発表会
・卒園記念作品展
・第70回卒園式

努力目標を掲げ、生徒一人ひとりが自分の目標を設定し、高校生活をより有意義に送るために、生徒の自己啓発と自発性を育成する観点から、全教員が一丸となつて取り組んだ。
○実施した主な内容
・第68回入学式・新入生歓迎会
・第1回～4回オープンキャンパス中 学生254名・保護者266名
・附属高校入試説明会(中学校教員40名)
・高校大運動会・もみじ会前夜祭
・修学旅行(広島・関西)
・美術科卒業作品展、食物科卒業発表会、音楽科卒業演奏会
・令和7年度入学 推薦生・特待生・一般生選考会
・第66回卒業式
○その他の実施内容
運営委員会、職員会議(月1回)、考査学力テスト、高大連携授業、進路別説明会、集会・表彰報告会・壮行会等

表① 院生・学生・生徒・園児在籍総数(令和6年5月1日現在)
[1,258名:前年度比119名減]
学則等収容定員[2,279名]

大学院	課程名	在籍数	在 籍 学 生 数					収容定員
		入学定員	(修)1	(博)1	(博)2	(博)3	合計	
	修士課程	10	3	2	0	0	5	20
	博士課程	3	0	0	0	0	0	9
	合 計	13	3	2	0	0	5	29

郡山女子大学	学科名	在籍数	入学定員	編入定員	在 籍 学 生 数					収容定員
					1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
	生活科学科	40	10	10	30	42	36	37	145	180
	食物栄養学科	80	10	10	47	64	67	76	254	340
	合 計	120	20	20	77	106	103	113	399	520

(含編入定員40名)

短期大学部	学科名	在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数			収容定員
				1年次	2年次	合計	
	健康栄養学科	70		38	45	83	140
	幼児教育学科	140		85	90	175	280
	地域創成学科	80		62	70	132	160
	合 計	290		185	205	390	580

専攻科		在籍数	入学定員	在 籍 学 生 数			収容定員
				1年次	2年次	合計	
	文化学専攻	10		8	3	11	20
	幼児教育学専攻	10		6	3	9	20
	合 計	20		14	6	20	40

附属高等学校	学科名	在籍数	入学定員(校則)	在 籍 生 徒 数				収容定員(校則)
				1学年	2学年	3学年	合計	
	普通科	240	55	58	66	179	720	
	音楽科	20	2	7	6	15	60	
	美術科	20	12	9	23	44	60	
	食物科	40	18	16	22	56	120	
	合 計	320	87	90	117	294	960	

附属幼稚園	年齢別	在籍数	在 籍 園 児 数			本年4月入園児数	収容定員
			男	女	合計		
	3才児	22	22	33	55	33	50
	4才児	24	24	20	44	2	50
	5才児	27	27	24	51	0	50
	合 計	73	77	77	150	35	150

表② 教職員数(令和6年5月1日現在)

学校別	教員数	職員数	非常勤	合計
郡山女子大学	33	25	34	92
郡山女子大学短期大学部	37	29	30	96
郡山女子大学附属高等学校	34	9	18	61
郡山女子大学附属幼稚園	12	1	19	32
計	116	64	101	281

◇放送大学福島学習センター出向職員 5名

○その他の実施内容

ハロウィンパーティ(えいご教室)、クリスマス会、おもちゃつき、クッキーづくり、歯磨き講習会、お別れ会食、作品展(年中・年少)、ひなまつり、育児講座、KGCマミークラブ

(8) 家庭寮(令和6年度在寮生79名)

新入寮生・在寮生オリエンテーション、リター会議(月1回、七夕会、いも煮会、節分会、学園長先生を囲んでのお茶会、クリスマス会、卒業生送別会)

(9) 大学図書館(高校分館を含む)

運営委員会、蔵書点検、選書ツアー、土曜開館

(10) 保健室

定期健康診断(大学、短大生、高校生、幼稚園児、教職員)、ストレスチェック

(11) 奨学生の採用(新入生)

学園創立者関口育英奨学生 大学生9名、短大生16名、高校生7名 計32名
同窓会育英奨学生 大学生8名、短大生8名、高校生2名 計18名

(12) 学生・生徒・園児募集

大学・短大進学相談会(会場形式、高校内、WEB)、高等学校訪問、附属高校入試説明会、中学校内高校説明会、園児募集(パンフレット)、ホームページの更新

(13) 部活動及び応募等の活躍状況(一部)

○高校

令和6年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

バレーボール競技 決勝トーナメント1回戦惜敗

▽入賞▽陸上競技 円盤投げ第6位

▽出場▽新体操競技団体・個人、卓球競技シングルス

・第77回全日本高等学校バレーボール選手権(春の高校バレー)出場

・第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会 出場

・第79回国民スポーツ大会(佐賀国体)新体操競技 出場

令和6年全国高等学校新体操選抜大会 女子団体14位他

令和6年度東北高等学校女子剣道選手権大会 女子団体出場

令和6年度東北私立高等学校テニス大会 出場

令和6年度東北高等学校弓道選手権大会 団体3位

・第76回全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞

・第4回全国高等学校書道パフォーマンス大会 2位

・第4回国際音楽コンクール東京本選

4位
・第11回豆乳レシピ甲子園 優秀学校賞

・第23回インスタントラーメンオリジナル料理コンテスト全国大会最優秀賞・審査員特別賞

・第37回きのこ料理コンクール全国大会 日本特用林産振興会長賞

○大学・短大

・ミートデリカコンテスト福島県大会 最優秀賞

・東北総合スポーツ大会ローイング競技女子シングルスカル 3位

(14) 安全管理

安全防災訓練にて身の安全確保訓練及び避難訓練を実施(444名参加)

※避難訓練(雨天中止)

(15) 施設・設備関係

教育環境の整備と適切な運営・維持・管理を行い施設の長寿命化を図るため優先的に行う工事を順次実施

(16) 環境関係

・エコアクション21中間審査(11回目)を実施の結果「ガイドライン適合」との評価

・プロジェクトD(ぐんぐりプロジェクト)を開催し、学生、教職員約25名が福島ふれあいの森にて樹木の裾払いを行った。

・REI F2024ふくしまSDGs未来博で環境委員会により本学の環境保全活動をPRした。

・「環境経営活動レポート2024」を学園関係者、環境イベント来場者等に配布、学園HPに公表した。

(17) その他

・芸術鑑賞講座

・第222回 郡山交響楽団「100万回生きたね」朗読コンサート

・第223回「源氏物語 歳暮の衣配り展」

・第224回「棟方志功版画展」

○教養講座

①「環境問題の社会的ジレンマ」講師 海野 道郎氏(東北大学名誉教授)

②「世界とのつながり」講師 後藤 あや氏(ハーバード公衆衛生大学院教授)

③「大山忠作襖絵展と父大山忠作を語る」講師 大山 采子氏(俳優)

このほか、各学科、各部署において数多くの事業を行っており、年度当初に立てた計画に基づき、教育活動及び事務活動を行った。

① 資金収支計算書

資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金収入	1,096,946,000	1,097,044,350	△ 98,350
	手数料収入	12,052,000	11,650,230	401,770
	寄付金収入	9,791,000	9,650,000	141,000
	補助金収入	564,573,000	569,758,000	△ 5,185,000
	国庫補助金収入	297,868,100	295,192,100	2,676,000
	地方公共団体(県)補助金収入	254,334,400	261,619,400	△ 7,285,000
	地方公共団体(市)補助金収入	10,519,000	11,095,000	△ 576,000
	地方公共団体(町)補助金収入	1,851,500	1,851,500	0
	資産売却収入	50,000,000	50,000,000	0
	付随事業・収益事業収入	88,833,000	92,596,978	△ 3,763,978
	受取利息・配当金収入	13,507,000	13,515,349	△ 8,349
	雑収入	113,163,450	118,690,816	△ 5,527,366
	借入金等収入	299,957,000	299,956,444	556
	前受金収入	241,684,500	264,062,500	△ 22,378,000
	その他の収入	264,581,808	265,328,426	△ 746,618
	資金収入調整勘定	△ 359,375,600	△ 375,498,011	16,122,411
	前年度繰越支払資金	188,531,336	188,531,336	—
	収入の部 合計	2,584,244,494	2,605,286,418	△ 21,041,924

支出の部	科 目	予 算	決 算	差 異
	人件費支出	1,589,832,411	1,588,111,524	1,720,887
	教育研究経費支出	501,939,000	505,772,055	△ 3,833,055
	管理経費支出	151,608,000	153,870,915	△ 2,262,915
	借入金等利息支出	2,205,000	3,455,850	△ 1,250,850
	借入金等返済支出	199,600,000	199,856,444	△ 256,444
	施設関係支出	7,678,000	7,678,000	0
	設備関係支出	10,783,700	11,883,849	△ 1,100,149
	資産運用支出	3,374,156	3,379,513	△ 5,357
	その他の支出	98,194,520	95,169,320	3,025,200
	予備費	(0)		7,900,000
	資金支出調整勘定	△ 48,440,500	△ 47,753,067	△ 687,433
	翌年度繰越支払資金	59,570,207	83,862,015	△ 24,291,808
	支出の部 合計	2,584,244,494	2,605,286,418	△ 21,041,924

④ 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告いたします。
令和7年3月31日現在

資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
	固定資産	5,585,406,174	5,917,881,266	△ 332,475,092
	有形固定資産	5,220,533,837	5,385,109,272	△ 164,575,435
	土地	2,745,140,681	2,745,140,681	0
	建物	1,610,207,188	1,724,843,877	△ 114,636,689
	構築物他	865,185,968	915,124,714	△ 49,938,746
	特定資産	47,413,600	161,521,017	△ 114,107,417
	郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産	28,041,342	139,150,186	△ 111,108,844
	同窓会奨学金引当特定資産	19,372,258	22,370,831	△ 2,998,573
	その他の固定資産	317,458,737	371,250,977	△ 53,792,240
	有価証券	300,000,000	350,000,000	△ 50,000,000
	ソフトウェア他	17,458,737	21,250,977	△ 3,792,240
	流動資産	175,808,226	309,120,644	△ 133,312,418
	現金預金	83,862,015	188,531,336	△ 104,669,321
	未収入金他	91,946,211	120,589,308	△ 28,643,097
	資産の部合計	5,761,214,400	6,227,001,910	△ 465,787,510

負債の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
	固定負債	1,393,247,046	1,352,136,833	41,110,213
	長期借入金	365,200,000	323,300,000	41,900,000
	長期未払金	25,384,260	44,653,450	△ 19,269,190
	退職給与引当金	1,002,662,786	984,183,383	18,479,403
	流動負債	483,136,945	445,321,120	37,815,825
	短期借入金	124,800,000	66,600,000	58,200,000
	前受金	264,062,500	290,549,600	△ 26,487,100
	預り金他	94,274,445	88,171,520	6,102,925
	負債の部合計	1,876,383,991	1,797,457,953	78,926,038

純資産の部	科 目	本年度末	前年度末	増 減
	基本金	15,973,378,762	15,966,162,023	7,216,739
	第1号基本金	15,773,378,762	15,766,162,023	7,216,739
	第4号基本金	200,000,000	200,000,000	0
	繰越収支差額	△12,088,548,353	△11,536,618,066	△551,930,287
	翌年度繰越収支差額	△12,088,548,353	△11,536,618,066	△551,930,287
	純資産の部合計	3,884,830,409	4,429,543,957	△544,713,548
	負債及び純資産の部合計	5,761,214,400	6,227,001,910	△465,787,510
参考	減価償却の累計額	10,585,855,839	10,445,002,346	140,853,493

⑤ 財産目録総括表

財産目録について、その主な内容をご報告いたします。
令和7年3月31日現在

科 目	金 額	備 考
基本財産	5,237,482,574	
土地	181,860.30㎡	
建物	50,834.37㎡	
構築物	308点	
教育研究用機器備品	12,335点	
管理用機器備品	697点	
図書	160,703冊	
車両	1	
水道施設利用権	0	
借地権	980,389	
電話加入権	2,918,498	
ソフトウェア	3件	
運用財産	523,731,826	
現金・預金	83,862,015	
有価証券	300,000,000	
出資金	460,000	
保証金	50,000	
育英奨学金基金引当特定資産	28,041,342	
同窓会奨学金引当特定資産	19,372,258	
未収入金	84,948,411	
前払金	104,500	
その他の資産	6,893,300	
資産合計	5,761,214,400	
固定負債	1,393,247,046	
長期借入金	365,200,000	私学事業団、郡山信用金
退職給与引当金	1,002,662,786	退職給与に係る見積債務額
長期未払金	25,384,260	
流動負債	483,136,945	
短期借入金	124,800,000	私学事業団、郡山信用金庫
未払金	66,886,757	
前受金	264,062,500	令和7年度生入学金等
預り金	27,387,688	
負債合計	1,876,383,991	
差引正味財産	3,884,830,409	

学校法人郡山開成学園の令和6年度決算について、監事及び東邦監査法人の監査を受け、理事会・評議員会で報告・承認されましたので、その概要をご報告いたします。

【資金収支計算書】

資金収入合計は、前年度繰越支払資金188,531千円を加え2,605,286千円となり、予算より21,041千円上回りました。この要因は土地売却による前受金収入16,000千円、補助金収入5,185千円などで予算を上回ったためです。

資金支出合計は、2,605,286千円となり、予算より21,041千円上回りました。この要因は教育研究経費・管理経費合計で6,095千円予算を上回ったほか、他の科目などでも予算を上回ったためです。これにより、翌年度繰越支払資金が83,862千円となり、予算より24,291千円上回りました。

〔事業活動収支計算書〕

教育活動収入及び教育活動外収入合計1,907,066千円、教育活動支出及び教育活動外支出合計2,456,459千円により、経常収支差額は△549,392千円となり、特別収支額を加算後、基本金組入前当年度収支差額では、△544,713千円とな



りました。

また、上記金額に基本金組入額△7,216千円を加えた当年度収支差額は△551,930千円となり、更に前年度繰越収支差額△11,536,618千円を加えた翌年度繰越収支差額は△12,088,548千円となりました。

〔貸借対照表〕

資産の部合計額5,761,214千円の内訳は有形固定資産5,220,533千円、特定資産47,413千円、その他の固定資産317,458千円、流動資産175,808千円となっております。

負債の部合計額1,876,383千円の内訳は長期借入金などが含まれる固定負債1,393,247千円、短期借入金などが含まれる流動負債483,136千円となり、純資産額は3,884,830千円となり、前年度末比544,713千円減少しました。

私たちは、学校法人郡山開成学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和6年度(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び附属明細表)を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に關し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めます。

令和6年度 決算報告

監査報告書

令和7年5月9日
学校法人郡山開成学園
監事 橋本 忠雄
監事 遠藤 武士

③ 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,096,946,000	1,097,044,350	△ 98,350
	手数料	12,052,000	11,650,230	401,770
	寄付金	10,091,000	9,987,690	103,310
	経常費等補助金	563,983,000	563,581,178	401,822
	国庫補助金	297,868,100	295,192,100	2,676,000
	地方公共団体(県)補助金	253,744,400	255,442,578	△ 1,698,178
	地方公共団体(市)補助金	10,519,000	11,095,000	△ 576,000
	地方公共団体(町)補助金	1,851,500	1,851,500	0
	付随事業収入	88,833,000	92,596,978	△ 3,763,978
	雑収入	113,163,450	118,690,816	△ 5,527,366
	教育活動収入計	1,885,068,450	1,893,551,242	△ 8,482,792
事業活動支出の部	人件費	1,608,313,008	1,606,590,927	1,722,081
	教育研究経費	686,284,000	689,639,960	△ 3,355,960
	管理経費	154,635,000	156,772,828	△ 2,137,828
	徴収不能額等	0	0	0
	教育活動支出計	2,449,232,008	2,453,003,715	△ 3,771,707
	教育活動収支差額	△ 564,163,558	△ 559,452,473	△ 4,711,085

収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	受取利息・配当金	13,507,000	13,515,349	△ 8,349
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	教育活動外収入計	13,507,000	13,515,349	△ 8,349
	借入金等利息	2,205,000	3,455,850	△ 1,250,850
	その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	2,205,000	3,455,850	△ 1,250,850
	教育活動外収支差額	11,302,000	10,059,499	1,242,501
	経常収支差額	△ 552,861,558	△ 549,392,974	△ 3,468,584

科 目		予 算	決 算	差 異
〔特別収支〕	収入の部活動		0	0
	資産売却差額		0	0
	その他の特別収入	590,000	7,011,635	△ 6,421,635
	特別収入計	590,000	7,011,635	△ 6,421,635
	支出の部活動			
	資産処分差額	0	2,207,209	△ 2,207,209
	その他の特別支出	0	125,000	△ 125,000
	特別支出計	0	2,332,209	△ 2,332,209
	特別収支差額	590,000	4,679,426	△ 4,089,426
	(予備費)	0		1,000,000
	1,000,000			
基本金組入前当年度収支差額		△ 553,271,558	△ 544,713,548	△ 8,558,010
基本金組入額合計		△ 18,461,000	△ 7,216,739	△ 11,244,261
当年度収支差額		△ 571,732,558	△ 551,930,287	△ 19,802,271
前年度繰越収支差額		△ 11,536,618,066	△ 11,536,618,066	0
翌年度繰越収支差額		△ 12,108,350,624	△ 12,088,548,353	△ 19,802,271
(参考)				
事業活動収入計		1,899,165,450	1,914,078,226	△ 14,912,776
事業活動支出計		2,452,437,008	2,458,791,774	△ 6,354,766

② 活動区分資金収支計算書

活動区分資金収支計算書について、その主な内容をご報告いたします。
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

収入の部	科 目	金 額
事業活動収入の部	学生生徒等納付金収入	1,097,044,350
	手数料収入	11,650,230
	一般寄付金収入	9,650,000
	経常費等補助金収入	563,581,178
	付随事業収入	92,596,978
	雑収入	118,690,816
	教育活動資金収入計	1,893,213,552
事業活動支出の部	人件費支出	1,588,111,524
	教育研究経費支出	505,772,055
	管理経費支出	153,745,915
	教育活動資金支出計	2,247,629,494
	差引	△ 354,415,942
	調整勘定等	△ 5,960,831
	教育活動資金収支差額	△ 360,376,773

収入の部	科 目	金 額
事業活動収入の部	施設設備補助金収入	6,176,822
	施設設備売却収入	0
	施設整備等活動資金収入計	6,176,822
事業活動支出の部	施設関係支出	7,678,000
	設備関係支出	11,883,849
	施設整備等活動資金支出計	19,561,849
	差引	△ 13,385,027
	調整勘定等	△ 22,563,743
	施設整備等活動資金収支差額	△ 35,948,770

科 目		金 額
収入 (その他の活動による資金収支)	借入金等収入	299,956,444
	有価証券売却収入	50,000,000
	郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産取崩収入	114,480,000
	同窓会奨学金引当特定資産取崩収入	3,006,930
	預り金受入収入	27,387,688
	立替金回収収入	9,900,800
	小 計	504,731,862
	受取利息・配当金収入	13,515,349
	その他の活動資金収入計	518,247,211
	借入金等返済支出	199,856,444
支出	郡山開成学園創立者関口育英奨学金引当特定資産繰入支出	3,371,156
	同窓会奨学金引当特定資産繰入支出	8,357
	預り金支払支出	28,880,882
	立替金支払支出	6,893,300
	過年度修正支出	125,000
	有価証券売却差額支出	0
	小 計	239,135,139
	借入金等利息支出	3,455,850
	その他の活動資金支出計	242,590,989
	差引	275,656,222
調整勘定等	16,000,000	
その他の活動資金収支差額		291,656,222
支払資金の増減額 (小計＋その他の活動資金収支差額)		△ 104,669,321
前年度繰越支払資金		188,531,336
翌年度繰越支払資金		83,862,015



新しい本が
届きました。
第29回

郡山女子大学 大学図書館

令和7(2025)年7月11日に Junk 堂書店郡山店で開催した、学生協働選書企画「選書ツアー2025」にて参加した学生さんが選んだ本の一部をご紹介します。



『煌夜祭』
多崎礼著、
中央公論新社
請求記号
913.6 Ta92



『羊皮紙の世界:
薄皮が秘める
分厚い歴史と物語』
八木健治著、
岩波書店
請求記号
022.6 Ya



『ウィキッド:
誰も知らない、
もう一つのオズの
物語 上、下』
グレゴリー・
マグワイア著;
市ノ瀬美麗訳、
早川書房
請求記号
933.7 Ma



『TACO直伝!
知ってるだけで
劇的に上達する
人体ドローイング
のコツ390』
TACO著;
金智恵訳、
パイインター
ナショナル
請求記号
726.5 Ta

文化庁の日本遺産サポーター大学に登録されている本学短期大学の活動を紹介します。日本遺産オンラインセミナーが7月17日に行われた。

地域創成学科2年生で郡山の魅力発信プロジェクトに取り組み5名が参加。安積開拓や安積疏水をテーマにした日本遺産・未来を拓いた「一本の水路」をPRする事例を発表した。郡山市内のゆかりの場所を巡り案内するJRとの企画や、子どもたちへの伝承活動の支援などを全国に発信した。

オンライン同時接続数は最大1000を超え、関心を寄せ



「一本の水路」のPR活動を発表する学生

短期大学部幼児教育学科チャイルド・ミュージックコースと附属高校音楽科・合唱部のサマーコンサートが7月19日、建学記念講堂で開かれた。



音楽を愛する仲間合同コンサート

昨年に続く合同コンサートで学生・生徒が日ごろの学びと練習の成果を披露した。幼児教育学科のハンドベル履修生らによる演奏で幕開け。短大、高校それぞれのグループの音楽や器楽のアンサンブルをはじめ、学生と生徒が組んだコラボ演奏も繰り広げられた。

クラシックからポップス、ディズニー映画の名曲など多彩なジャンルの演奏に詰め掛けた方々から盛んな拍手が送られた。

一本の水路PRを全国に発信 日本遺産サポーターの短大

多くの人々に視聴してもらった。

短大生と高校生の
コラボ演奏に拍手
サマーコンサート



先日、附属幼稚園で同窓会を行い、卒業した子どもたちが久しぶりに顔を合わせました。最初は少し照れていた子ども

附属幼稚園同窓会が行われました

いましたが、すぐに当時の雰囲気に戻り、笑顔と笑い声がふられました。懐かしい思い出話に花を咲かせたり、近況を語り合ったり

思い出を重ねることができました。成長した姿と変わらぬ笑顔に、職員一同も心温まるひとときを過ごしました。



彫刻の部 入選
生活科学科3年
(令和6年度地域創成学科卒業)
渡辺 海月

「unbalance - 洒落 -」
女性の華やかさと、幾何学的に切り取られたパーツのアンバランスな不気味さを対比的に表現した作品です。

紙上美術展 107

第79回福島県総合美術展(県展)に本学の学生3名が出品、うち1名が青少年奨励賞を受賞した。それぞれの作品とコメントを紹介する。



日本画の部 青少年奨励賞
地域創成学科1年 佐藤 百恵
「みなも」

高校時代(附属高校)に制作したもので、水に濡れたり沈んだりする薔薇を幻想的に表現しようとした作品です。



洋画の部 入選
地域創成学科1年 橋本 涼子
「ひこうき雲」

この作品は、地元の風景をモチーフに描きました。暗くなるまでの時間の移り変わりや水面の反射している様子を表現しました。

木もれ陽

一期一会という言葉がある。常に「これが最後かもしれない」と考え、そのときを大切にしようという教えに心打たれる。

私が現在、教員として充実した時間を過ごしているのも、高校時代の恩師との出会いがあったからだ。恩師は、物事をまっすぐにとらえ、気配があり、そして優しく情熱を持っていた。その恩師の教えを守り、充実した時間を過ごすことができたからこそ、私は今、教員をしている。

皆さんには胸を張って恩師と呼

べる方がいますか。何歳になっても物事を正しく教えてくれる人はいませんか。その方を恩師と呼ぶための関係は、自分自身で築くもの。信頼関係があつてこそ成り立つ関係。会うと気が引き締まり、エネルギーをもらえる存在。

私の恩師も年齢八十五歳。恩師が定年退職を迎えたとき、約束をした。必ず恩師の教えを継承していくと。これからの生徒育成に尽力できるかわからないが、教員でいられるタイムリミットまで、私の継承という道は続く。(松)